シラバス/Syllabus

■ 授業情報/Course Information

授業コード/Class code	97158002		開講キャンパス/Campus	大阪梅田キャンパス／Osaka Umeda Campus	
授業開講年度/Academic Year	2024年度		オンライン授業60単位制限対象科目 The 60-credit limit for online courses		
管理部署/Administrative Department	経営戦略研究科／Institute of Business and Accounting				
【科目ナンバー】授業名称 【Course Number】Class Title	【550】テクノロジー・マネジメント　2／Technology Management				
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期後半集中／Intensive (Fall 2nd Half)	曜時/Day and Period	集中・その他／Concentration/Other
担当者/Instructor	玄場　公規(GENBA KIMINORI)				
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年				
履修登録方法 Types of course registration	本登録				
主な教授言語/Language of Instruction	日本語／Japanese				
授業形態 Course Implementation Format	対面授業/Face to face format				
授業目的/Course Purpose	この授業は、企業が技術開発の成果をイノベーションに結びつけるまでの様々な不確実性を理解し、イノベーション戦略を実践するためのテクノロジー・マネジメントを学ぶことを目的とする。				
授業目的（英文） Course Purpose	The purpose of this lecture is to understand the various uncertainties that companies must manage in creating innovation by using technological development and to teach technology management to practice innovation strategy .				
到達目標/Learning Goals	企業が技術開発を行い、その成果をイノベーションに結びつける過程には様々な不確実性が存在する。本講義では、その不確実性を克服し、イノベーションを実現するための戦略論とマネジメントを提示する。これらを具体的なケーススタディとグループディスカッションにより習得する。				
到達目標（英文） Learning Goals	Various uncertainties exist in the process by which companies develop technology and link the results to innovation. Students will learn strategic theory and management to overcome uncertainty and realize innovation. In this lecture, specific case studies will be presented and students will learn deatailed theories through group discussions.				
授業の概要・背景 Course Outline	基本的知識や理論、具体的なケースなどの講義とともにグループワークの課題を提示する。各グループで課題の議論を行い、成果発表を行う。				
授業方法 Course Format	全講義を完全対面で実施する。テクノロジー・マネジメントに関する基礎的諸概念を学ぶため、パワーポイントのスライドを基にした講義が中心となります。また、必要に応じ企業のイノベーションの事例を紹介すること等により、実践的な知識の習得を図ります。受講者がそれぞれの学問上・仕事上の経験を他の受講者と共有し、相互に高め合うことによって学習効果の一層の向上が期待されます。そのため、期末レポートだけでなく、授業中のグループワークに参加し、その成果を発表することが不可欠となります。				
関連科目/Related Courses	イノベーション経営				
検索キーワード/Keywords	イノベーション、破壊的イノベーション、オープンイノベーション、両利きの経営、競争力、研究開発				

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	イノベーションの不確実性（1）：イノベーションとは何か、3つの不確実性	教科書『イノベーション戦略入門』第一章を読んでおく。
第2回 Session 2	イノベーションの不確実性（2）：技術の利用の革新性、グループワーク	配布資料及びグループワークのスライドにて復習する。
第3回 Session 3	前回のグループワークの発表、イノベーターのジレンマー技術革新が巨大企業を滅ぼすとき(1)：破壊的イノベーションとは何か?	教科書『イノベーション戦略入門』第二章を読んでおく。
第4回 Session 4	イノベーターのジレンマー技術革新が巨大企業を滅ぼすとき(2)：既存優良企業が破壊的イノベーションに対抗できないのはなぜか？　グループワーク	配布資料及びグループワークのスライドにて復習する。
第5回 Session 5	前回のグループワークの発表、ビジネスモデルの重要性（1）：イノベーションとしたのビジネスモデル創出	教科書『イノベーション戦略入門』第四章を読んでおく。
第6回 Session 6	ビジネスモデルの重要性（1）：競争優位を確立したビジネスモデル、グループワーク	配布資料及びグループワークのスライドにて復習する。
第7回 Session 7	前回のグループワークの発表　製品・ソフトウェアのモジュール化（1）：製品・ソフトウェアのモジュール化とは何か	教科書『イノベーション戦略入門』第四章を読んでおく。
第8回 Session 8	製品・ソフトウェアのモジュール化（2）：モジュール化がイノベーション戦略に与えた影響、グループワーク	配布資料及びグループワークのスライドにて復習する。
第9回 Session 9	前回のグループワークの発表、技術機会と多角化（1）：多角化戦略と収益性、関連多角化	教科書『イノベーション戦略入門』第五章を読んでおく。
第10回 Session 10	技術機会と多角化（2）：技術系企業の多角化において重要な技術機会、グループワーク	配布資料及びグループワークのスライドにて復習する。
第11回 Session 11	前回のグループワークの発表、オープンイノベーション（1）：外部の資源を利用するオープンイノベーションの意義	教科書『イノベーション戦略入門』第六章を読んでおく。
第12回 Session 12	オープンイノベーション（2）：オープンイノベーション戦略の是非、グループワーク	配布資料及びグループワークのスライドにて復習する。
第13回 Session 13	前回のグループワークの発表、環境イノベーション：イノベーションオフセット：環境負荷を低減する技術イノベーションの必要性と企業戦略との関係	可能であれば、参考書『環境経営のイノベーション』第六章を事前に読むと理解が深まる。
第14回 Session 14	グループワーク、総合討議	配布資料及びグループワークのスライドにて復習する。

教科書/Required texts	著者名：玄場公規　タイトル：イノベーション戦略入門　発行所：Amazon キンドル出版　出版年：2018　ISBN：
参考書/Reference books	著者名：天野明弘他　タイトル：環境経営のイノベーション―企業競争力向上と持続可能社会の創造　発行所：生産性出版　出版年：　ISBN：978-4820118374
学生による授業評価の方法 Course Evaluation by Students	定められた方法により実施します
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー（DP）・カリキュラム・ポリシー（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。各学部・研究科のDP、CPや教育課程表（授業科目一覧等）は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1※kwicへのリンクとなります（在学生のみ閲覧可）

	種別 Type	割合 Percentage	評価基準等 Grading Crireria etc.
成績評価 Grading	定期試験に代わるリポート／Term paper to replace the final examination(02)	50%	期末試験（レポート試験）
	プレゼンテーション・発表／Presentation(07)	50%	グループワーク課題への参加と発表
更新日時/Date of Update	2024年01月12日　16時00分24秒		

■ 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2024年度	秋学期後半集中／Intensive (Fall 2nd Half)	集中・その他／Concentration/	秋学期後半集中／Intensive (Fall 2nd Half)	OC1004